

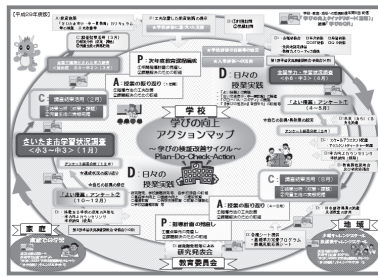
学習状況調査の結果を活用した学力向上策の展開

教育研究所

1 はじめに

さいたま市教育委員会では、本市独自の「さいたま市学習状況調査」（1月実施）と「全国学力・学習状況調査」（4月実施）の2つの学習状況調査を軸として、PDCAサイクルを位置付けた「学びの向上アクションマップ」を策定し、児童生徒の「確かな学力」の向上を目指して、様々な施策を展開している。

教育研究所では、2つの学習状況調査の結果を把握・分析し、学力向上に関する様々な支援ツールの提供及び各学校の実態に応じた訪問等を下記のように実施してきた。



学びの向上アクションマップ

- (1) 学力向上カウンセリング学校訪問の実施
- (2) 学びの向上クイックリポートの配信
- (3) 課題克服応援シートの掲載
- (4) 市内各校における学力向上策の共有

今後も、これらの取組を継続し、各学校の学力向上に対する支援を行っていく。

2 学力向上ポートフォリオの作成

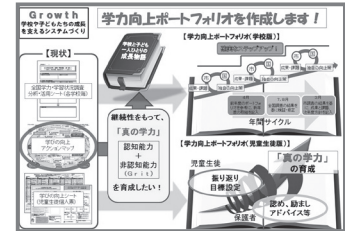
各学校では、これまで「全国学力・学習状況調査」の自校の調査結果を分析し、具体的な改善の方策を導き出すために「分析・活用シート」を作成し、自校の実態や実情に応じた学力向上策に取り組んできた。

そうした取組を一過性のものとせず、より計画的、継続的なものとして、各学校の実態に

じた学力向上策を展開していくことが、児童生徒のより「確かな学力」の向上に結び付くものとする。

そこで、平成29年度から「分析・活用シート」を改善し、新たに「学力向上ポートフォリオ」とした。

「学力向上ポートフォリオ」には「児童生徒版」と「学校版」の2種類がある。「児童生徒版」は、児童生徒が自分の伸びやつまづきを把握し学びを蓄積していくことをねらいとしている。一方、「学校版」は、各学校の実態や学力向上策を追記していくため、次年度以降にも取組内容が引き継がれ、今まで以上に、各学校で継続的な学力向上策に取り組めるものと期待される。



学力向上ポートフォリオ構想図

3 おわりに

さいたま市教育委員会では、「さいたま市学習状況調査」及び「全国学力・学習状況調査」を実施し、児童生徒の学力を継続的・多面的に把握・分析し、教育指導等の工夫改善に生かしてきた。調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎない。しかし、調査結果を丁寧に分析し、積極的に活用することで、それぞれの学校の実態に応じた学力向上策が展開され、児童生徒の「確かな学力」の向上につながるものとする。

今後も、学習状況調査の結果を積極的に活用し、教育指導の改善・充実を図っていくことが大切である。